

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年9月8日
【事業年度】	第6期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）
【会社名】	株式会社 日本政策投資銀行
【英訳名】	Development Bank of Japan Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 橋本 徹
【本店の所在の場所】	東京都千代田区大手町一丁目9番6号
【電話番号】	03-3244-1820（代表）
【事務連絡者氏名】	財務部 兼 経営企画部 課長 下澤 範久
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区大手町一丁目9番6号
【電話番号】	03-3244-1820（代表）
【事務連絡者氏名】	財務部 兼 経営企画部 課長 下澤 範久
【縦覧に供する場所】	該当ありません。

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年6月26日に提出いたしました第6期（自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

1 業績等の概要

（自己資本比率の状況）

（参考）

連結自己資本比率（国際統一基準）

単体自己資本比率（国際統一基準）

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

4 連結自己資本比率（国際統一基準）

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線で表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(自己資本比率の状況)

(省略)

(参考)

(省略)

連結自己資本比率（国際統一基準）

(訂正前)

(単位：億円、%)

	平成26年3月31日
1. 連結総自己資本比率（4／7）	<u>15.89</u>
2. 連結Tier1比率（5／7）	<u>15.40</u>
3. 連結普通株式等Tier1比率（6／7）	<u>15.36</u>
7. リスク・アセットの額	<u>164,523</u>
8. 連結総所要自己資本額	<u>13,161</u>

(訂正後)

(単位：億円、%)

	平成26年3月31日
1. 連結総自己資本比率（4／7）	<u>15.83</u>
2. 連結Tier1比率（5／7）	<u>15.34</u>
3. 連結普通株式等Tier1比率（6／7）	<u>15.30</u>
7. リスク・アセットの額	<u>165,166</u>
8. 連結総所要自己資本額	<u>13,213</u>

単体自己資本比率（国際統一基準）

（訂正前）

（単位：億円、％）

	平成26年 3 月31日
1. 単体総自己資本比率（4／7）	<u>15.29</u>
2. 単体Tier 1 比率（5／7）	<u>14.82</u>
3. 単体普通株式等Tier 1 比率（6／7）	<u>14.82</u>
7. リスク・アセットの額	<u>169,959</u>
8. 単体総所要自己資本額	<u>13,596</u>

（訂正後）

（単位：億円、％）

	平成26年 3 月31日
1. 単体総自己資本比率（4／7）	<u>15.23</u>
2. 単体Tier 1 比率（5／7）	<u>14.76</u>
3. 単体普通株式等Tier 1 比率（6／7）	<u>14.76</u>
7. リスク・アセットの額	<u>170,602</u>
8. 単体総所要自己資本額	<u>13,648</u>

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

4 連結自己資本比率（国際統一基準）

（訂正前）

（省略）

当連結会計年度末の総自己資本合計は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比923億円増加し2兆6,154億円となりました。一方、リスク・アセットの額の合計額は前連結会計年度末比1,969億円増加し16兆4,523億円となりました。

以上の結果、当連結会計年度末の連結総自己資本比率は、前連結会計年度末比0.37ポイント上昇し、15.89%となりました。

	当連結会計年度末 (平成26年3月末)
	金額（億円）
(4) リスク・アセットの額の合計額	
信用リスク・アセットの合計額	<u>162,067</u>
オペレーショナル・リスク相当額に係る額／8%	2,455
計 ④	<u>164,523</u>
連結総自己資本比率（国際統一基準）＝③÷④×100（%）	<u>15.89</u>
連結Tier1比率＝②÷④×100（%）	<u>15.40</u>
連結普通株式等Tier1比率＝①÷④×100（%）	<u>15.36</u>

（訂正後）

（省略）

当連結会計年度末の総自己資本合計は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比923億円増加し2兆6,154億円となりました。一方、リスク・アセットの額の合計額は前連結会計年度末比2,613億円増加し16兆5,166億円となりました。

以上の結果、当連結会計年度末の連結総自己資本比率は、前連結会計年度末比0.31ポイント上昇し、15.83%となりました。

	当連結会計年度末 (平成26年3月末)
	金額（億円）
(4) リスク・アセットの額の合計額	
信用リスク・アセットの合計額	<u>162,711</u>
オペレーショナル・リスク相当額に係る額／8%	2,455
計 ④	<u>165,166</u>
連結総自己資本比率（国際統一基準）＝③÷④×100（%）	<u>15.83</u>
連結Tier1比率＝②÷④×100（%）	<u>15.34</u>
連結普通株式等Tier1比率＝①÷④×100（%）	<u>15.30</u>